

平成30年度

単位施策評価表

所属 38300000

生涯学習部 スポーツ振興課

施策	5302 生涯スポーツの推進						
区分	妥当性		妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正
	上位貢献度		有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
対象	市民全般						
施策が目指す姿	市民の健康・体力作りやスポーツに親しむきっかけづくりとなる、より多くのニーズに応じた各種大会・教室等の開催等を図る。						
成果指標	スポーツ大会参加者数...2022年度で23,000人（現状値17,366人） スポーツ教室参加充足率...2022年度で90.0%（現状値80.4%）						
目標達成状況			平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標 1 [人]	予定	18,600.00	19,700.00	20,800.00	21,900.00	23,000.00
		実績	15,809.00				
	成果指標 2 [%]	予定	82.50	84.50	86.40	88.20	90.00
		実績	83.50				
		単位コスト	728.32				
	成果指標 3 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	成果指標 4 []	予定					
		実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	62,392	86,366	85,304	0	0
		実績	60,815	84,369	85,304	0	0
内部評価	貢献度	上位基本施策の目標指標「大会・教室への市民満足度」の向上のためには、各種大会や教室の開催が必要であることから本単位施策の目標達成のための貢献度は高い。					
	達成状況	施策目標である「スポーツ大会参加者数」は猛暑や台風接近等による開催中止により減少したが、参加人数自体は昨年度より増加した。「教室充足率」は目標値を達成できた。					
	課題	大会参加者の増加のためには事業のさらなるPRの強化や魅力あるイベントを目指した創意工夫などを行う必要がある。					
	取組方針	スポーツ大会に、健康、観光、文化などのエッセンスを取り入れ、スポーツにプラスαの観点により魅力的で集客ができるスポーツイベントに取り組んでまいりたい					
外部評価	スポーツは身近なものであり、スポーツを始めるきっかけづくりとして教室の開催は重要であることから、更なる推進活動を期待する。 生涯スポーツの推進の一つとして、プロスポーツと連携し愛好家を増加させるなど検討願いたい。 地域の体育祭など既存の事業も前年踏襲ではなく、統廃合も含め検討し活性化を図るなども必要と思われる。						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	555102	スポーツ振興事務費（大平）				862	100
	555601	少年スポーツ振興事業費				2,839	100
	556305	生涯スポーツ振興事業費（西方）				541	100
	556306	生涯スポーツ振興事業費（岩舟）				5,610	100
	737201	第77回国民体育大会開催関係事業費				4,040	100
	555701	中高年スポーツ振興事業費				813	99
	556302	生涯スポーツ振興事業費（大平）				3,102	97
	555101	スポーツ振興課一般経常事務費				7,904	93
	556304	生涯スポーツ振興事業費（都賀）				1,266	90
	555301	スポーツ大会開催委託事業費				20,606	88

單位施策評價表

所属 38300000

生涯学習部 スポーツ振興課

[illegible]

単位施策評価表 補表

施策	5302 生涯スポーツの推進		
区分	妥当性	妥当	対象、事業手法、目的ともに妥当である。
	コスト削減の余地	有	大会、教室を減らさずにコストを下げることは可能である。 なお、参加費の値上げによるコスト抑制は参加者が減少する可能性もあり検証と工夫が必要である。
	受益者負担	適正	時代背景やニーズなども検証しながら受益者負担の必要性、負担すべき金額を設定してまいりたい。
	上位貢献度	有効	スポーツ大会等の開催により、健康増進と青少年の健全育成への貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	他に類する事業で代替は困難である。
	成果向上の余地	有	市民への情報提供、地域でのスポーツ活動指導者の育成を図るなど成果向上の余地は残る。
内部評価	貢献度	上位基本施策の目標指標である「市民が日常的にスポーツ活動に取り組むことができるよう市民のニーズに応じた様々なスポーツ機会の提供と自主的且つ積極的にスポーツに参加する意識の醸成づくり」には、各種大会や教室の開催が重要であり、本単位施策の目標による貢献度は高い。	
	達成状況	「スポーツ大会参加者数」は前年度実績より増加したが、目標値には及ばなかった。 「スポーツ教室参加充足率」は、目標値を達成できた。 なお、参加者数については悪天候や猛暑などの理由により大きく増減することもあり、原因をきちんと見極める必要がある。	
	課題	多くの市民が参加できる大会の内容の検討が必要であるが、平成26年度に実施した市民アンケートにおいてスポーツ実施率が6割強という結果が出ており、スポーツを市内約3割の方へのPRやいかにスポーツに興味を持っていただくかの検討が必要である。	
	取組方針	スポーツ+αの視点により、他部署とのコラボレーションを積極的に行うなど、スポーツに興味のない方・やらない方をスポーツ実施に向けていくことが必要である。平成30年度は健康増進の部署とラジオ体操キャラバンを実施し健康増進を推進したが今後も多くの市民が参加できる事業を企画してまいりたい。	